



*Glassworking Torches & Accessories*

## ベツレヘム酸素バーナー アルファバーナー



この度は、ベツレヘム社ガラス工芸用酸素バーナーをお買い求め頂き誠に有難う御座います。

ロペックスインターナショナル株式会社

**特徴： ～SURFACE MIX（サーフィスマックス）～**

- ※ ベツレヘム社の全ての酸素バーナーは酸素とガスの混合をバーナーの火口表面で行う、サーフィスマックス式にて設計されています。特徴としては音がとても静かで、酸素のつまみとガスのつまみを調節する事で炎の幅の大きさ、細さが自由行える操作性に優れたバーナーです。
- ※ また、ガス／酸素の混合はバーナー本体の火口表面で行われるため逆火現象が起らず、安全性にも優れています。
- ※ 十分な火力を得られるため、ガス、酸素ともに消費量が抑えられ、経済的なバーナーです。

**バーナー仕様**

バーナー火口 	中炎 6 JETS 口径 φ15.9mm
適正圧力(低圧)	酸素—55Kpa/cm <sup>3</sup> (0.56Kgf/cm <sup>3</sup> ) -8PSI-
	ガス—13Kpa/cm <sup>3</sup> (0.14Kgf/cm <sup>3</sup> ) -2PSI-
利用範囲	ロッド 16mmまで可
	チューブ19mmまで可
外形寸法	高さ12.7cm 台座15.2cm角
純重量	約1.1kg
ガス種	プロパンガスまたは天然ガス

**設置の際にご確認下さい**

1. ガス(赤バルブ)と酸素(緑バルブ)のホース接続は、それぞれφ6mmの適正ホースで接続し、ホースバンドでしっかりと締めてください。
2. プロパンガスをご利用の場合は中圧用レギュレーターを接続して下さい。  
天然ガスを使用される場合は、レギュレーターは必要ありません。  
酸素は必ず酸素レギュレーターを接続し調節してご使用ください。  
高圧ガスについてご不明な点は最寄りの高圧ガス取扱店にご相談ください。
3. ガス種について  
アセチレンガスは使用しないで下さい。アセチレンは多くの炭素を含んでいますのでバーナーの火口表面に多分の煤(スス)が付着します。

**点火する前に**

バーナー本体とガス、酸素のホースを接続が終わりましたら、各ホースの接続部分に石鹸水を付け、それぞれの栓を開けて下さい。漏れがあるとそこから泡が吹きますので、もし泡が出ましたら、泡が出なくなるまで締め直して下さい。

**点火手順**

1. ガスのバルブを少しだけ開け、着火マン等で火をつけバーナーに点火します。
2. ガスのみの炎(オレンジ色)がでてきたら、バルブを回して炎を少し大きくします。
3. 少しずつ酸素を開け好みの大きさにして下さい。酸素が加わると青色の炎に変わります。
4. バーナーの炎の中にオレンジ色の炎が混じっていたら、ガスが不完全燃焼の状態ですので、酸素を加えるか、ガスを減らして調整して下さい。

こちらのYou tubeも参考にご覧下さいませ。[http://www.youtube.com/watch?v=-Nsy\\_17ERcM](http://www.youtube.com/watch?v=-Nsy_17ERcM)

**消火手順**

1. 酸素のバルブを閉じます。炎が次第にオレンジ色になってきます。
2. ガスの元栓を閉じてしばらく待つと、自然に火が消えます。こうすることでホースの中に溜まっているガスを全て抜くことができます。
3. 火が消えたら、酸素を再度出し、バーナー火口を冷やします。

## 注意事項

- ・ 各適正圧力のとおり、中圧でご使用ください。
- ・ ガラスの作品をあまりにもバーナー火口の表面に近づけて作業をすると、火口の表面とガラス作品の間に熱が溜まります。これをバックブラッシュと呼びます。バーナーの火口を劣化させる原因となりますので十分な距離を取って作業して下さい。

## 毎日のメンテナンス

作業後、十分にバーナーを冷ましてから、バーナー火口を付属のステンレスワイヤーを使って、火口表面に付着した黒い煤を取り払ってください。  
煤が付着したまま使用すると、ガラス作品の発色を悪くするだけでなく、火口表面が非常に高温になりバーナーの劣化の原因になります。